

事前評価調書

I 事業概要																																												
事業名	交通安全施設等整備事業（交差点改良）																																											
地区名	一般国道419号																																											
事業箇所	豊田市藤岡飯野町																																											
事業のあらまし	<p>当該路線は、豊田市の中心市街地と豊田市の北部の山間地域を結ぶ主要幹線道路であり、藤岡中学校、飯野小学校の通学路にも指定されており、朝夕の通勤通学時間帯には、自転車の中学生が歩道を走れず、車道にはみ出して通行しており、大変危険な状態となっている。さらに、右折容量が不足していることにより、交通事故も多発している。</p> <p>このため、事故の防止と歩行者の安全確保を図るため、右折車線及び自歩道の設置を行うものである。</p>																																											
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 右折車線及び自歩道設置を行い、事故の防止と歩行者の安全確保を図る。</p> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p>																																											
事業費	事業費		内訳																																									
	4.50億円		□工事費1.0億円、□用補費3.0億円、□その他0.5億円																																									
事業期間	採択予定年度	平成25年度	着工予定年度	平成29年度	完成予定年度	平成30年度																																						
事業内容	交差点改良 L=230m																																											
II 評価																																												
①事業の必要性	1) 必要性	各方向からの右折の交通容量が不足しており、交通事故が多発している。また、歩道の幅員が不足しており、歩行者・自転車が車道にはみ出して通行している。																																										
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】 主要な幹線道路同士の交差点であり、事故が多発しており、事故の防止を図るため、交差点の改良が必要である。</p>																																									
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>事業計画及び実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>							H25	H26	H27	H28	H29	H30	工種区分	調査・設計	←→						用地補償			←→				工事				←→			事業費（億円）				3			
			H25	H26	H27	H28	H29	H30																																				
工種区分	調査・設計	←→																																										
	用地補償			←→																																								
	工事				←→																																							
事業費（億円）				3																																								
2) 地元の合意形成	地元からの整備要望の声が強く、地元合意形成は容易になされる。																																											
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】 円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性は高いものと考えます。</p>																																										

Ⅲ 対応方針	
事業実施	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業実施前後の自動車・歩行者等の安全性の変化</p>	